

子どもをタバコの 煙から守るために

禁煙

してみませんか!?



受動喫煙による子どもが受ける影響を知っていますか？

受動喫煙とは、他人の喫煙によるタバコの煙にさらされることをいいます。また子どもや妊婦の前でタバコを吸っていなくても、吐く息や服に有害物質が残り、受動喫煙と同様の影響が考えられます。受動喫煙をなくすためには禁煙しかありません！

妊娠中の喫煙や受動喫煙で起こる可能性がある

胎児への影響

- 低出生体重
- 胎児発育遅延



乳幼児への影響

- 乳幼児突然死症候群
- 身体発育の低下
- 注意欠陥多動性障害 (ADHD) などの発達障害
- 中耳炎
- ぜんそく 等



『加熱式タバコ』も『タバコ』です！

加熱式タバコはタバコの葉を使用したタバコ製品で、様々な**有害物質**が検出されています。有害物質を含んだ煙や蒸気は目に見えにくく、臭いも少ないですが、**受動喫煙**が起こります。また紙巻きタバコと同程度のニコチンが含まれています。このため、紙巻きタバコと同じように加熱式タバコでも**ニコチン依存症**になる可能性があります。
(日本禁煙推進医師歯科医師連盟 2017)

兵庫県『受動喫煙の防止等に関する条例』を知っていますか？

子どもや妊婦を受動喫煙から守る観点を強化することを中心に、条例が改正されました。(令和元年7月1日一部施行)

- ・ 子どもや妊婦がいる空間 (部屋内や車内等) で、喫煙してはならない。
- ・ 妊婦は喫煙をしてはならない。妊婦は喫煙区域に入ってはならない。
⇒喫煙者は禁煙し、受動喫煙の害から子どもや妊婦を守りましょう！

喫煙には**加熱式タバコも含まれます。**